

省資源活動



脱プラスチックへの取り組み

当社商品で進めている、プラスチックトレイや外包装材料の厚みを薄くするなどの環境配慮活動の一環として、内容量や耐久性を維持したまま、商品に使用しているプラスチックトレイを除いた「ノートレー化」「紙トレイ化」を行いました。脱プラスチック商品には、当社オリジナル「eco包装マーク」を表示しています。

今後も、プラスチックゴミ削減や輸送エネルギーの軽減にもつながる省資源活動を積極的に推進してまいります。



【eco包装マーク】

ハートをイメージさせるマークには、“思いやり”と“やさしさ”の気持ちを込めました。

思いやりのあるやさしい気持ちから自然環境を大切にする行動が「芽生える」、それが重なって「滞りなく循環する＝良い環境」を一筆書きで表現しました。下からマークを包む月桂樹の葉で“全ての生態系の共栄”を加え、人間と全ての生きものとの共存、繁栄の願いをコンセプトとしました。

	<p>(旧) </p> <p>(新) </p>	<p>プラスチックトレイの使用をやめ、ノートレー化 →年間約19トンのプラスチック削減</p>
	<p>(旧) </p> <p>(新) </p> <p></p> <p></p> <p></p>	<p>プラスチックトレイの使用をやめ、包装もスリム化し省資源化 →年間約41トンのプラスチック削減</p>
	<p>(旧) </p> <p>(新) </p> <p></p> <p></p>	<p>プラスチックトレイを紙トレイに変更 →年間約2トンのプラスチック削減</p>

環境配慮型包材を使用した商品

- ① 商品を保護することを目的に使用しているトレーの原料の一部に、植物由来のバイオマスプラスチックを使用したトレーを採用し、トレー部分にはバイオスマーク[※]を刻印しています。また、包装材料については継続的な見直しを図り、強度を保ったまま厚みを低減することで石油由来のプラスチック包材使用量の削減を図っています。今後も、環境対応包材の使用を拡大させ、環境負荷低減を図ってまいります。



ブランチュールに使用しているトレー
(バイオマスプラスチック25%配合)

- ② 2020年9月から、プチポテトシリーズにおいて外装に使用しているフィルムの厚さを削減するとともに、素材の一部にバイオマスPETフィルムを採用しました。商品の外装にはバイオスマーク[※]を印刷しています。



※バイオスマーク：生物由来の資源（バイオマス）を活用し、品質および安全性が関連する法規、基準、規格等に適合している環境商品に付与できるマークです。2006年8月から、一般社団法人日本有機資源協会が認定しています。

- ③ 2019年2月からは、手を汚さずにお召し上がりいただくため一部商品に使用していたプラスチック製フォークを紙製ピックに変更し、プラスチック使用量の継続的な削減に努めています。



返品廃棄物削減の取り組み

返品の削減活動に取り組み、商品の先入れ先出し管理の徹底や、適正量の管理などに継続して取り組んでいます。その結果、2004年度比91.2%削減することができました。また、返品された商品は産業廃棄物として処分していますが、処分量についても2004年度比80.2%削減しています。

■ 返品廃棄物量および返品率推移



※2004年度を100とした場合